

# よくある修正項目

- 凡例の見直し
- 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
- 軸の目盛が少なすぎ(約5個が適切)
- ひずみの単位は $\mu\text{strain}$
- 軸にラベルを記入
- 横軸の数値は縦ではなく横表記
- 横軸のラベルは長さ情報に変更
- 図のキャプションはグラフの下に
- Vノッチ梁の歪データは削除
- 描画エリアが小さすぎて視認性が悪い
- 解像度が悪いので鮮明に
- 対象とするひずみセンサの見直し
- 計測データを点(マーカ)で記入

# 例1

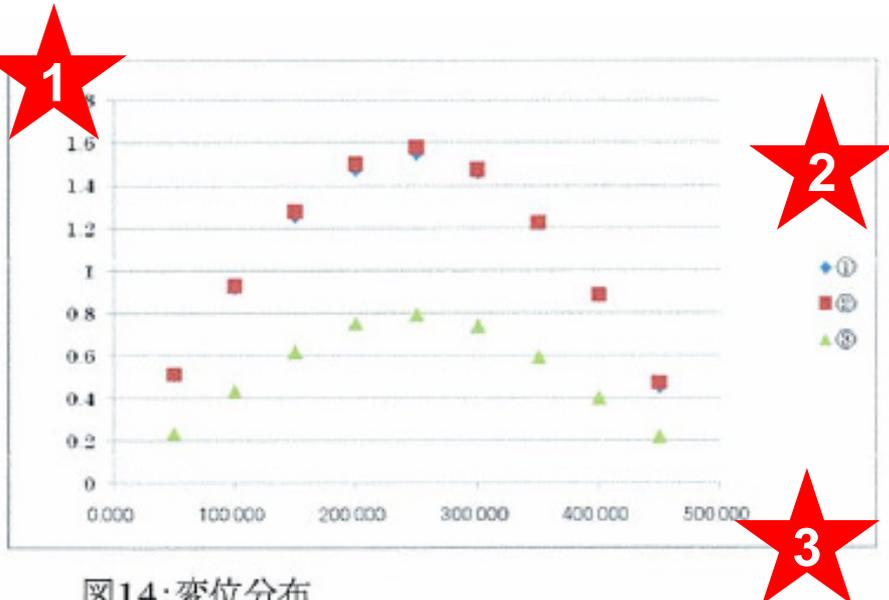


図14:変位分布

1. 軸にラベルを記入
2. 凡例を記入
3. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
4. 系列2のデータは削除

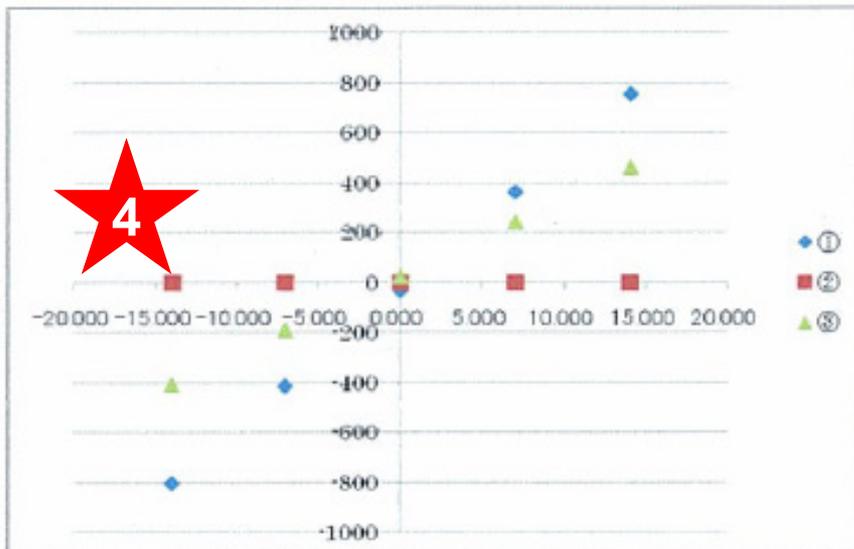
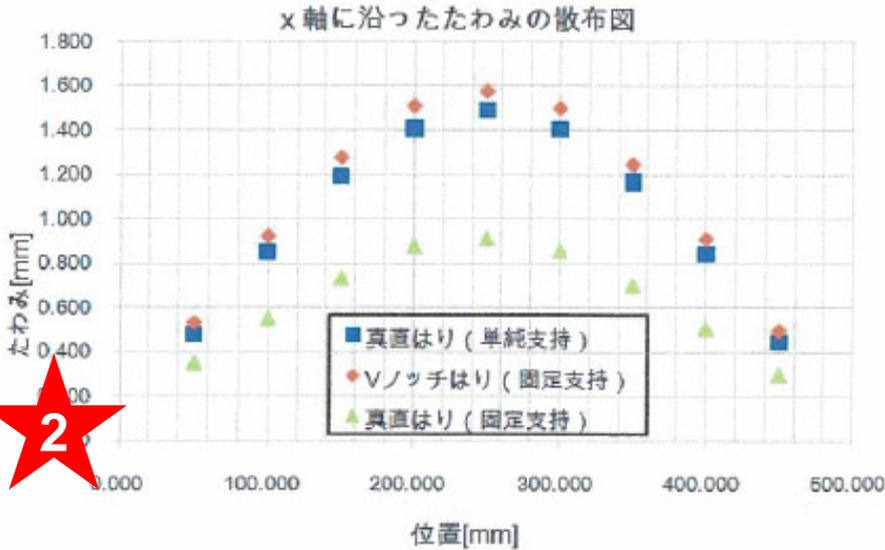


図15:y 方向ひずみ分布

# 例2

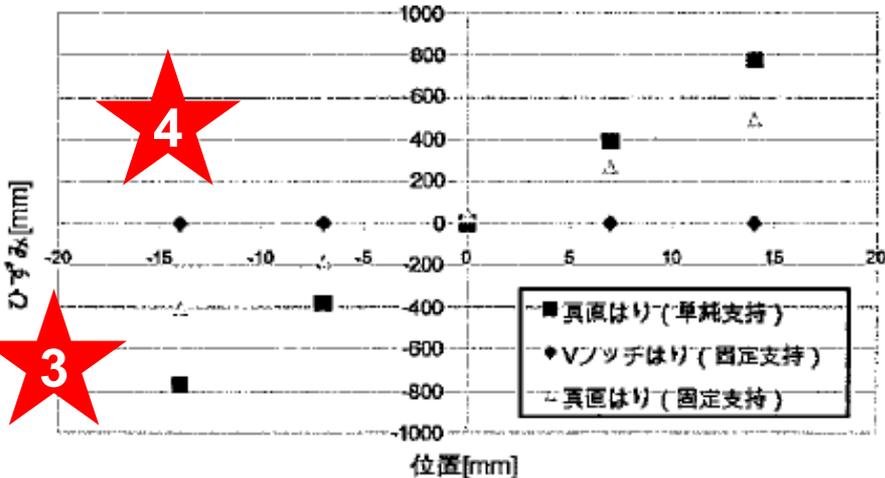


グラフ1: x軸に沿ったたわみの散布図



1. 図のキャプションはグラフの下に
2. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
3. ひずみの単位は $\mu\text{strain}$
4. Vノッチ梁の歪データは削除

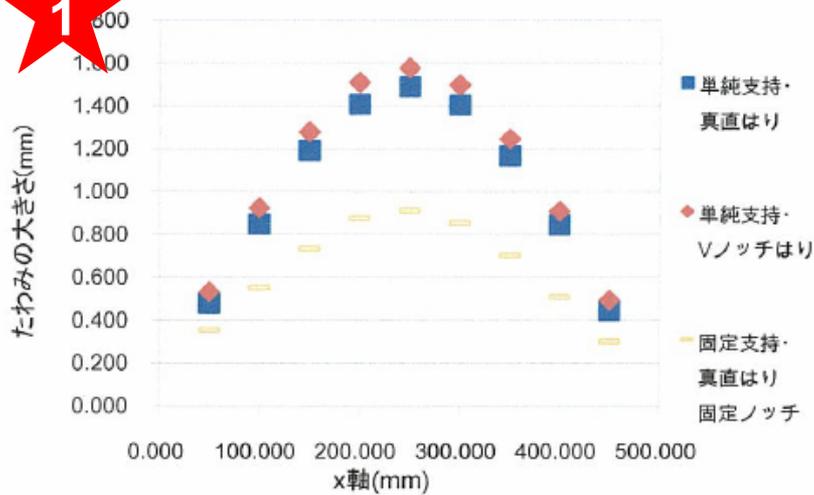
y軸に沿ったひずみの分布図



# 例3



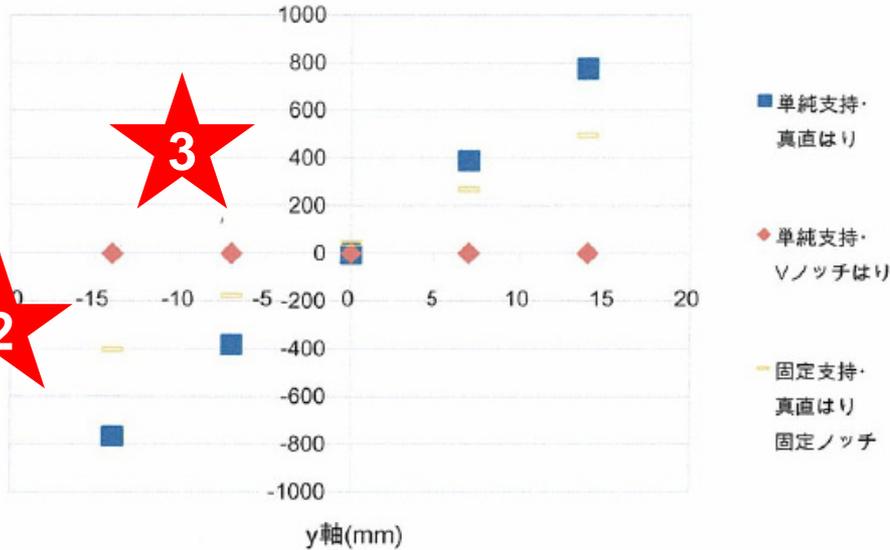
x軸に沿ったたわみの分布図



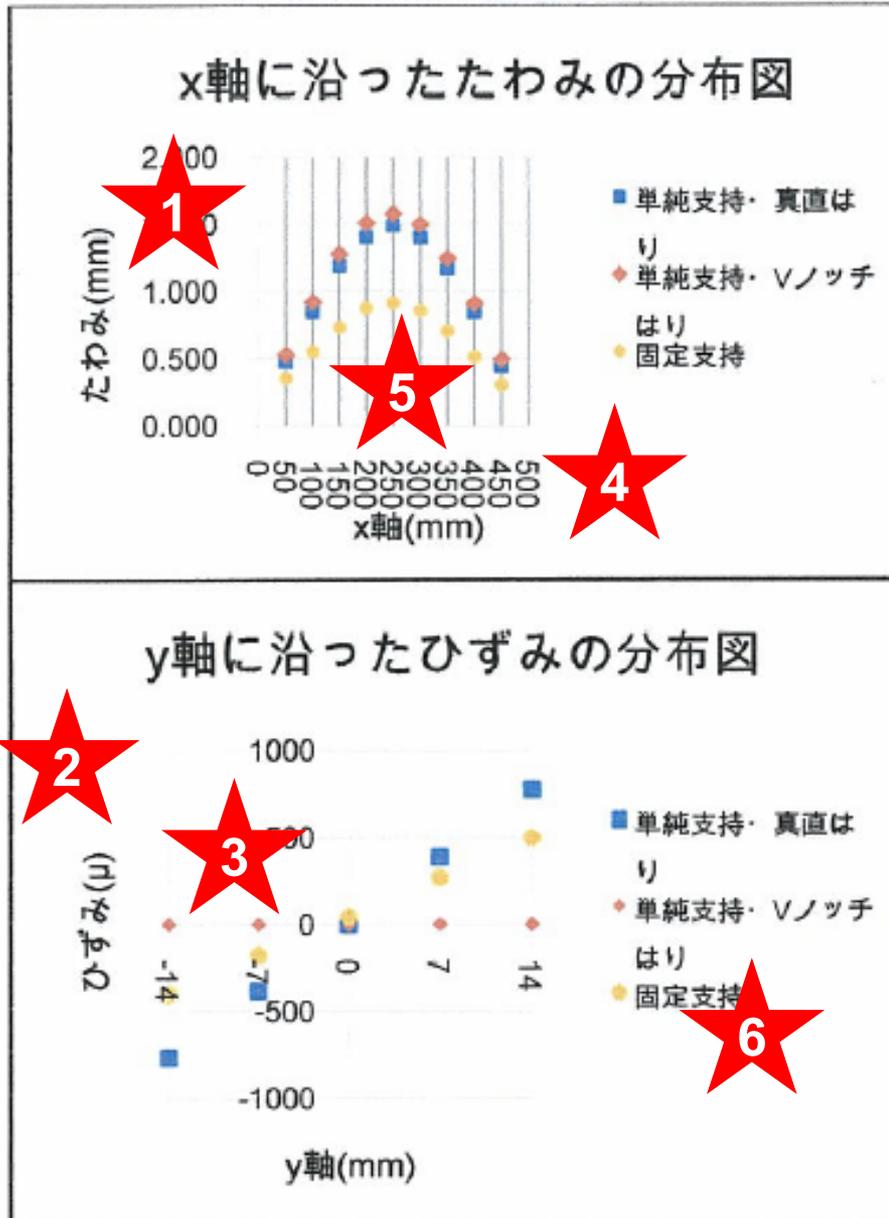
1. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
2. ひずみの単位は $\mu\text{strain}$
3. Vノッチ梁の歪データは削除



ひずみ

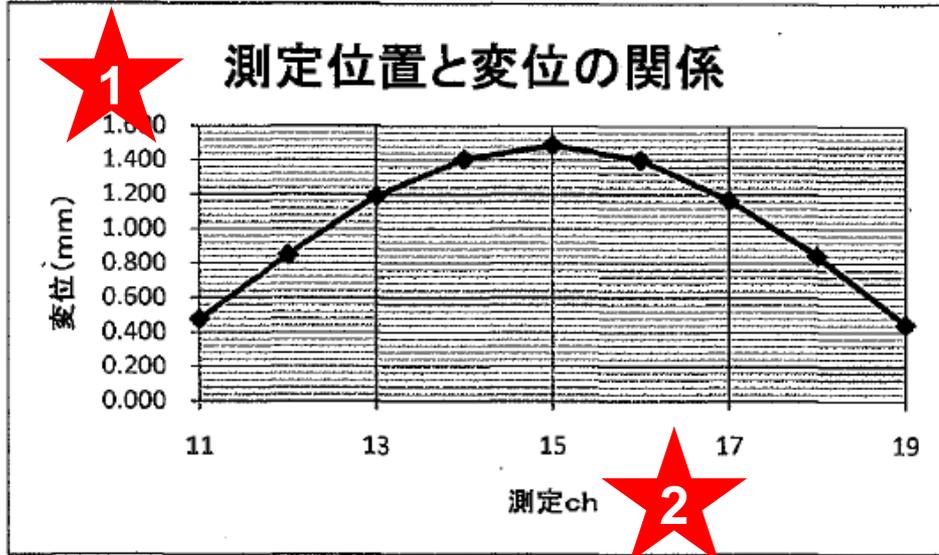


# 例4

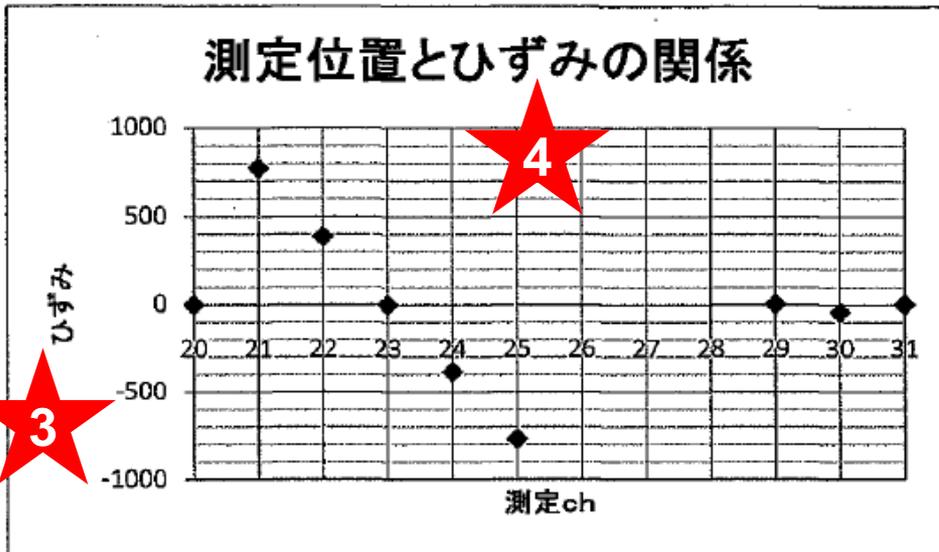


1. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
2. ひずみの単位は $\mu\text{strain}$ に
3. Vノッチ梁の歪データは削除
4. 横軸の数値は縦ではなく横表記
5. 描画エリアが小さすぎて視認性が悪い
6. 固定支持・真直梁

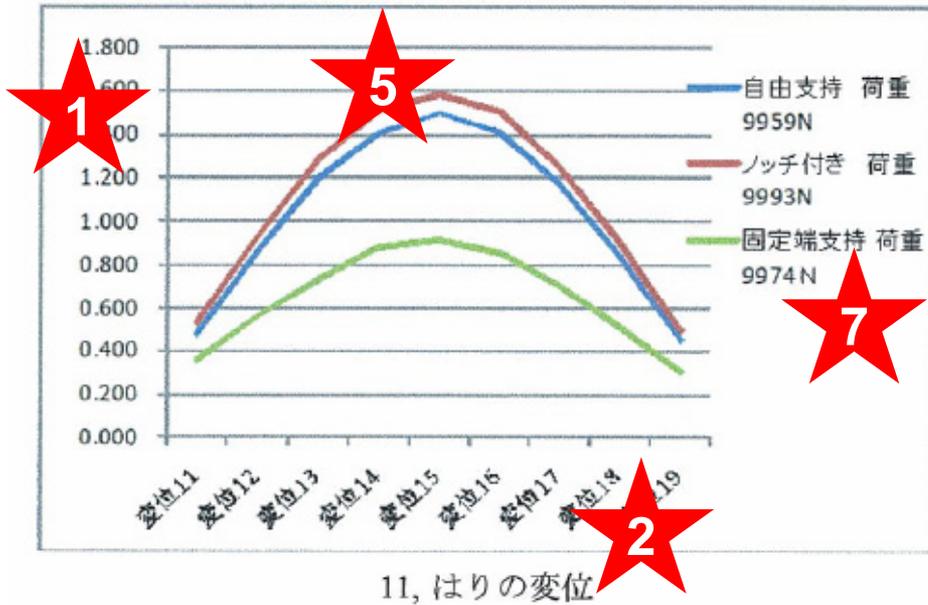
# 例5



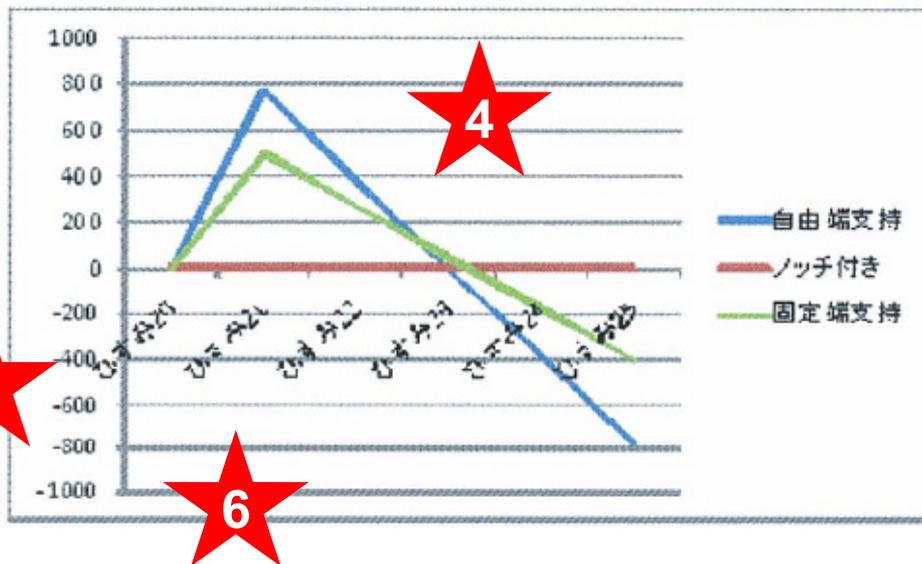
1. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
2. 横軸のラベルは長さ情報に変更
3. ひずみの単位は $\mu\text{strain}$
4. 対象とするひずみセンサの見直し



# 例6



1. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
2. 横軸のラベルは長さ情報に変更
3. 軸にラベルを記入
4. 対象とするひずみセンサの見直し
5. 計測データを点(マーカ)で記入
6. 解像度が悪いので鮮明に見直し
7. 凡例の見直し



# 例7



図6 x軸に沿ったたわみの散布図

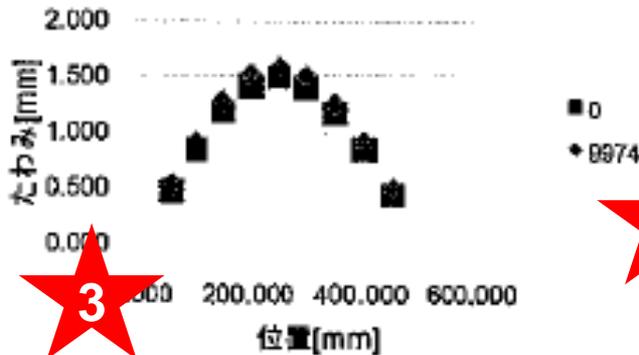
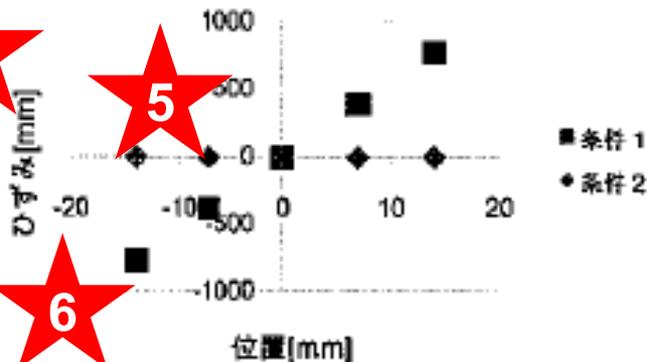


図7 y軸に沿ったひずみの分布図

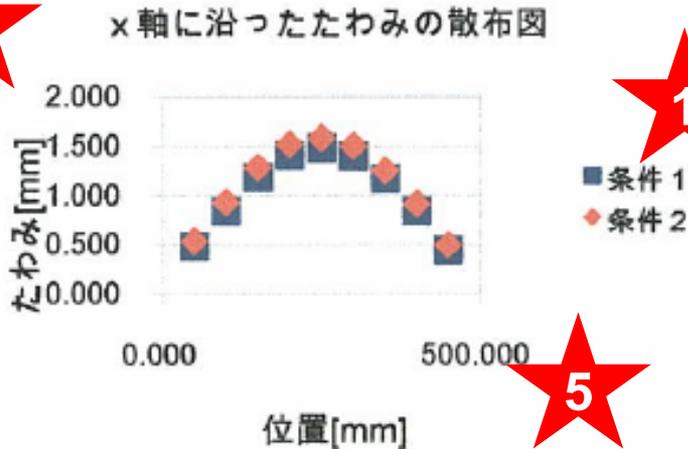


1. 図のキャプションはグラフの下に
2. 凡例の見直し
3. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
4. ひずみの単位は $\mu\text{strain}$
5. Vノッチ梁の歪データは削除
6. 軸の目盛が少なすぎ(約5個が適切)



# 例8

2

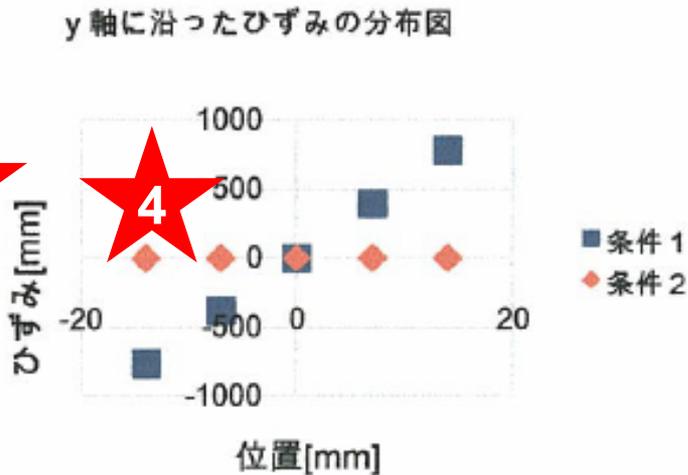


1

5

1. 凡例の見直し
2. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
3. ひずみの単位は $\mu\text{strain}$
4. Vノッチ梁の歪データは削除
5. 軸の目盛が少なすぎ(約5個が適切)

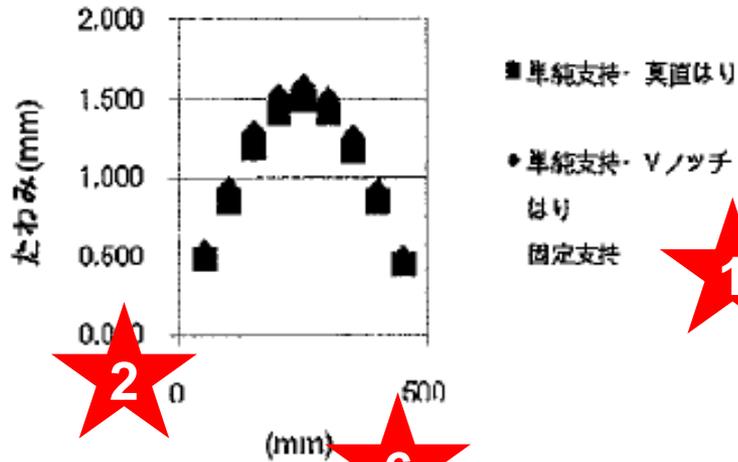
3



4

# 例9

x軸に沿ったたわみの分布図

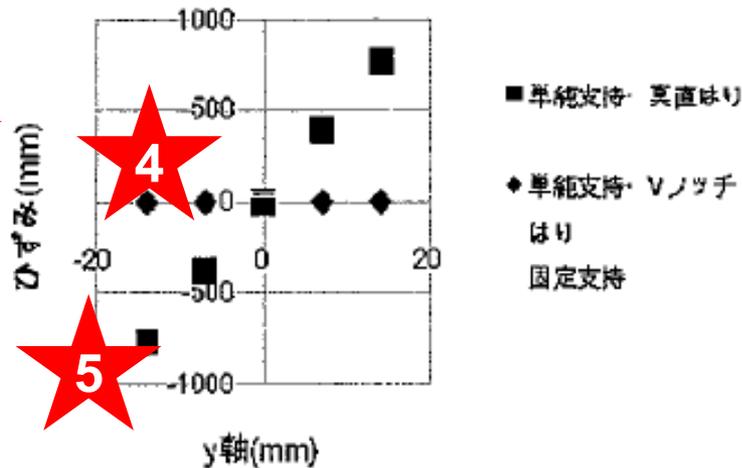


2

1

6

y軸に沿ったひずみの分布図



3

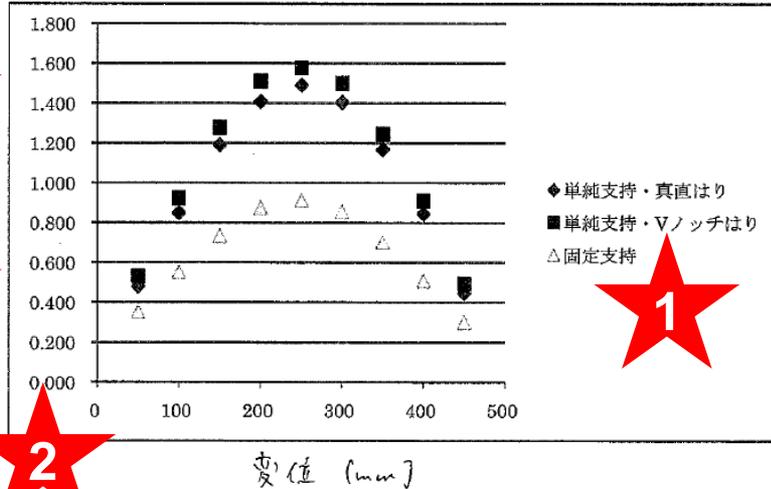
4

5

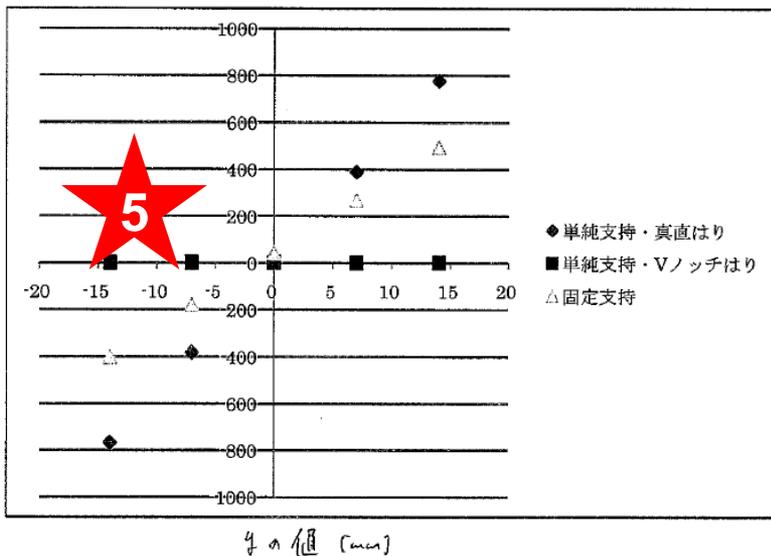
1. 凡例の見直し(固定支持の梁は?)
2. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
3. ひずみの単位は $\mu\text{strain}$
4. Vノッチ梁の歪データは削除
5. 軸の目盛が少なすぎ(約5個が適切)
6. たわみのグラフで横軸のラベルを記入

# 例10

ε軸方向におけるたわみ



η軸方向におけるひずみ



1. 凡例の見直し(固定支持の梁は?)
2. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
3. 軸ラベルに単位を記入
4. 軸ラベルをワープロまたは表計算ソフトで作成のこと
5. Vノッチ梁の歪データは削除

# 例11



図2.4 X軸に沿ったたわみの分布図

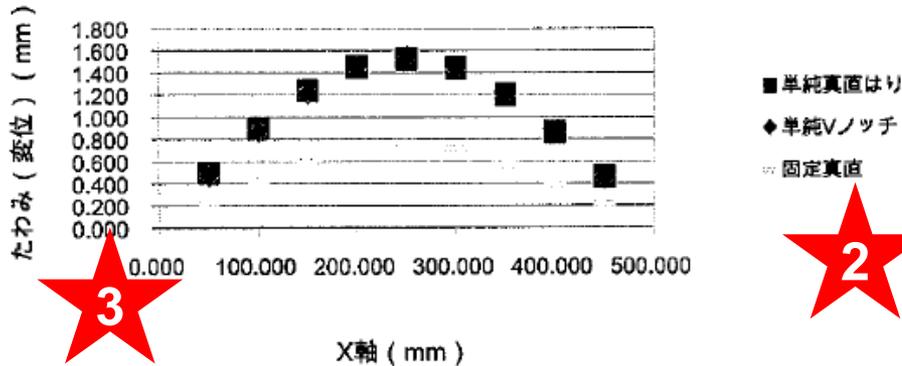
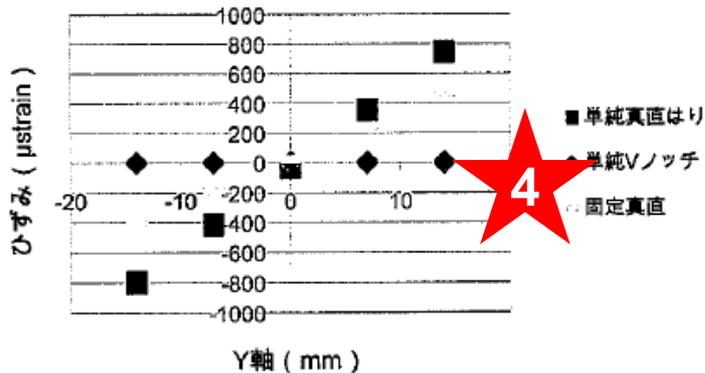
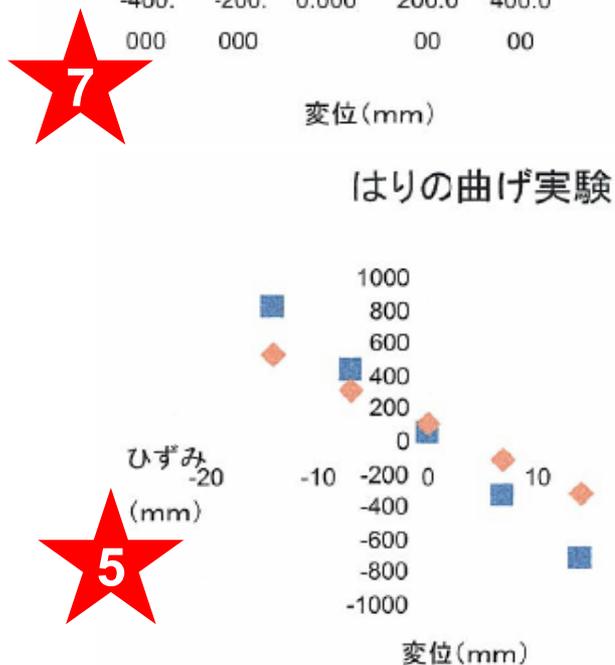
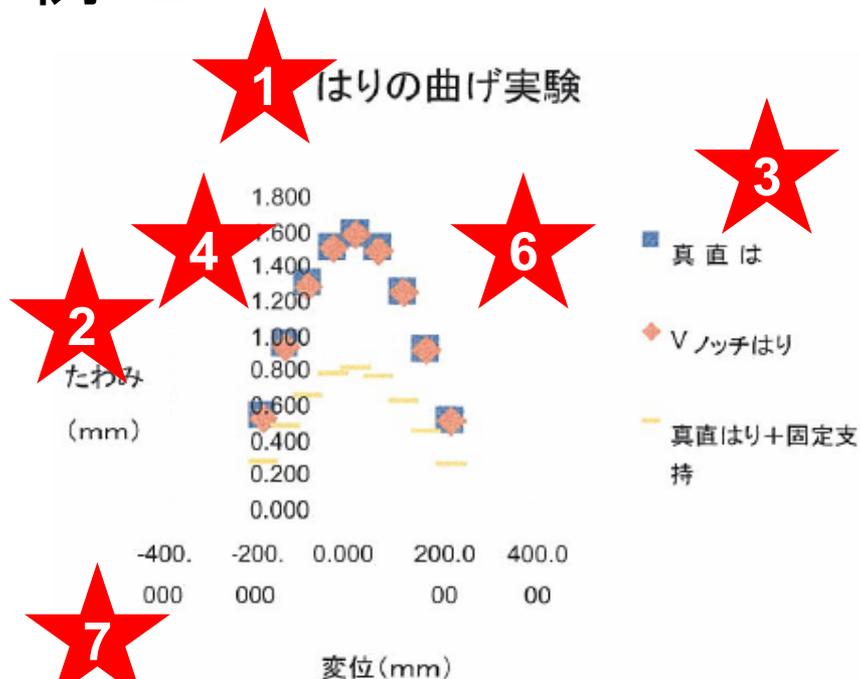


図2.5 Y軸に沿ったひずみの分布図



1. 図のキャプションはグラフの下に
2. 凡例の見直し(固定支持の梁は?)
3. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
4. Vノッチ梁の歪データは削除

# 例12



1. 図のキャプションはグラフの下に
2. 横軸のラベルを90° 回転
3. 凡例の見直し
4. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
5. ひずみの単位は $\mu\text{strain}$
6. 描画エリアが小さすぎて視認性が悪い
7. 撓みのグラフで、横軸の目盛を見直し

# 例13

はりの曲げ実験

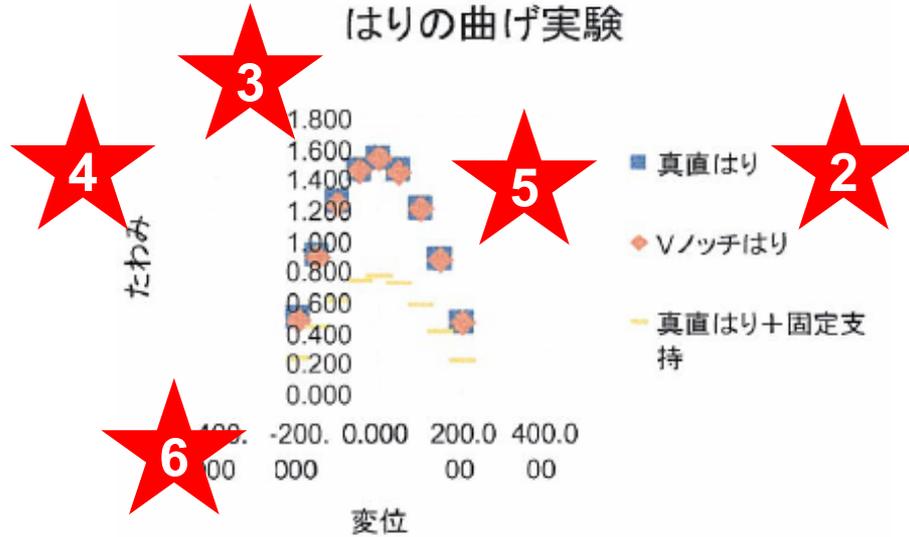


図 1

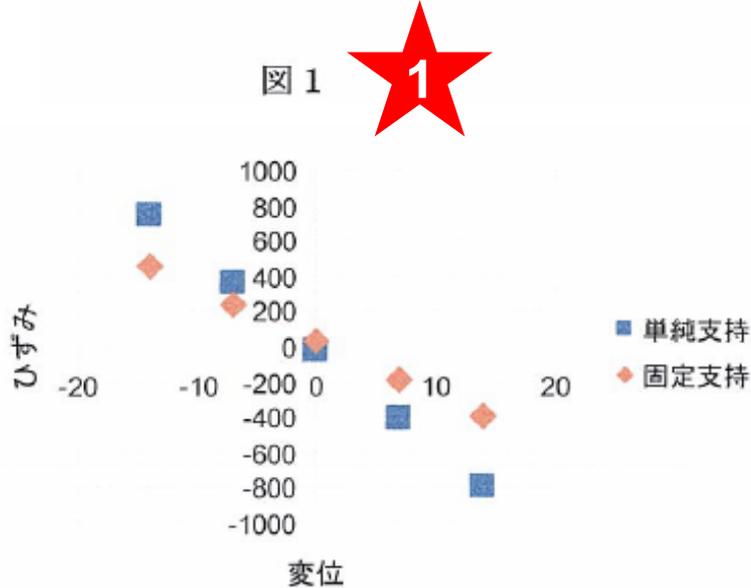


図2

1. 図のキャプションはグラフの下に
2. 凡例の見直し(支持条件)
3. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
4. 各軸のラベルに単位を記入
5. 描画エリアが小さすぎて視認性が悪い
6. 撓みのグラフで, 横軸の目盛を見直し

# 例14

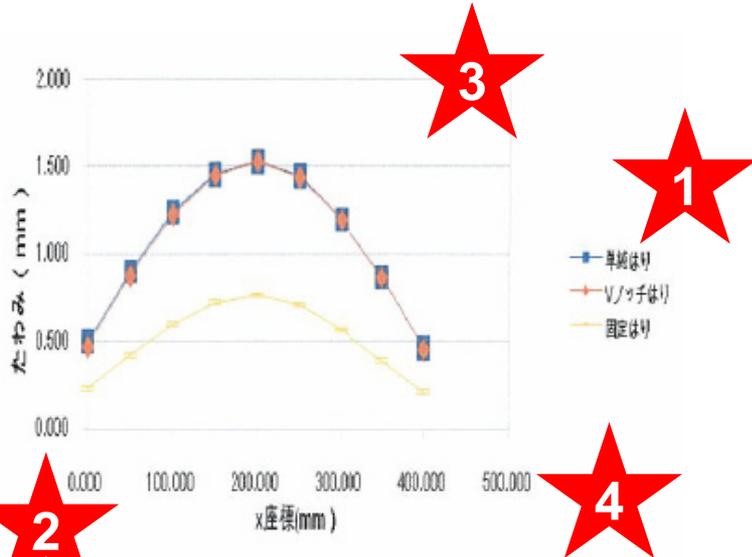


図1:x軸にそったたわみの分布

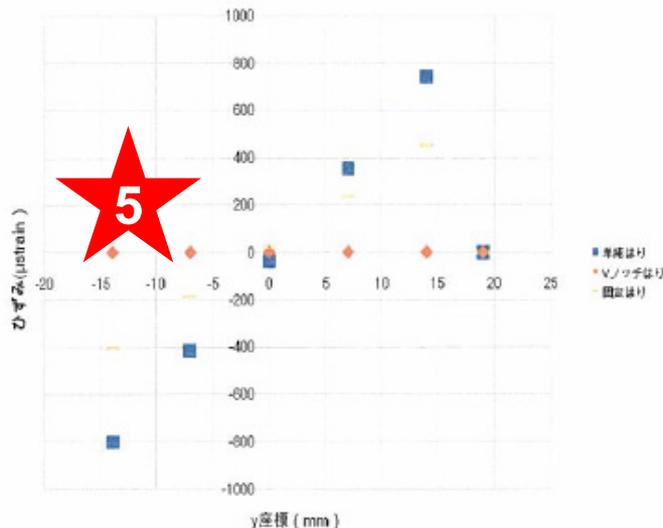
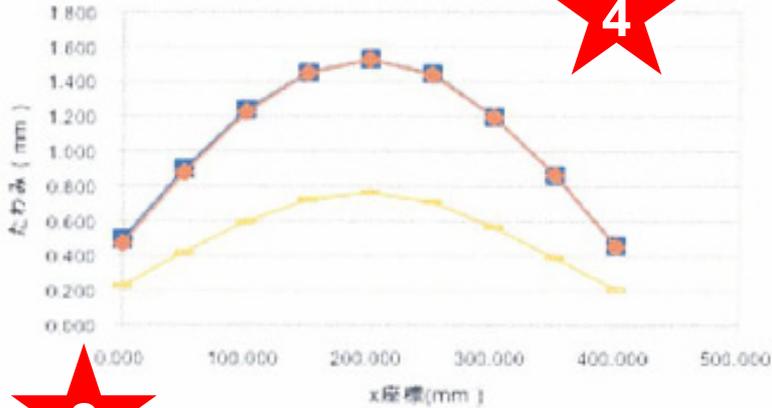


図2:y軸にそったひずみの分布

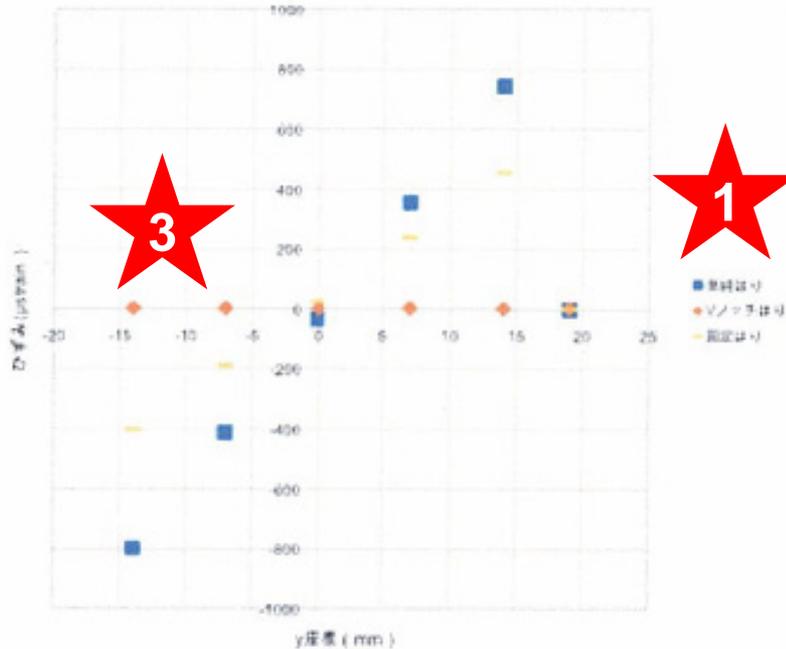
1. 凡例の見直し
2. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
3. 撓みのグラフで、アスペクト比を調整
4. 撓みのグラフで、横軸の目盛を見直し
5. Vノッチ梁の歪データは削除

# 例15



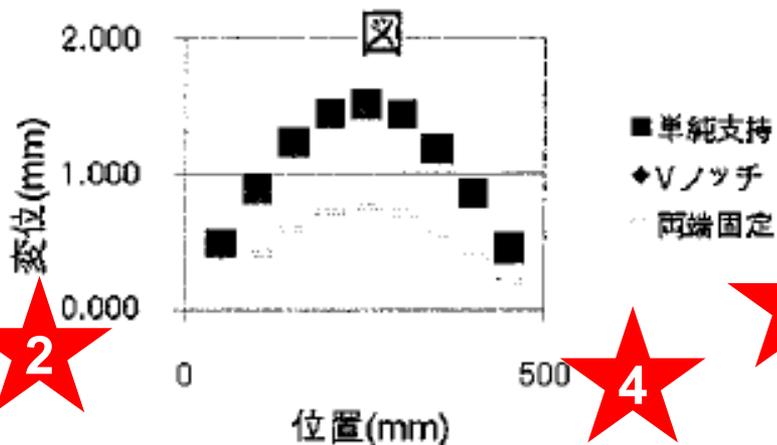
2

1. 凡例の見直し
2. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
3. Vノッチ梁の歪データは削除
4. 図の解像度を上げる



# 例16

## x軸に沿ったたわみの分布



1. 凡例の見直し
2. 軸の数字で末尾の不要なゼロは削除
3. Vノッチ梁の歪データは削除
4. 軸の目盛が少なすぎ(約5個が適切)

## y軸に沿ったひずみの分布

